

## 第1回 添川小学校学校運営協議会記録

令和6年5月29日(水)

9:30~11:30

### 協議等の内容

#### (1) 令和6年度学校経営について

○校長が「学校経営の大綱」に沿って説明(内容は省略)

- ・ 令和6年度 学校経営の大綱について、全員が承認

#### (2) 校内授業一巡 (以下は感想等)

- ・ 複式2学級あったが、先生方はさすがだと思った。子どもの様子もよくわかっている。
- ・ 同感。複式学級があつて2, 3年については支援する人がいたが、5, 6年生は担任の先生一人でよくやっている。子ども達も自分達で進めていてすごい。
- ・ 先生方の表情が明るくてよい。
- ・ 児童が楽しそうでよい。高学年が積極的に挨拶もしてくれて、それもいいと思った。複式は自分で学習を進めているのがさすが。学習リーダーがいい。とも学びができています。安心。
- ・ 10名を超える複式学級でも電子黒板を使つてうまく進めていた。
- ・ 授業の中で、子ども達の真剣な様子を見ることができた。複式でたいへんなところは互いにカバーしている。教材教具も工夫している。学習リーダーがうまく進めている。

Q 体育の時の複式授業はどうしているのか。

A 技能教科はAB年次方式を導入し、1, 2年。3, 4年。5, 6年の複式で。

Q 複式授業の弊害は?また、交流学习は町内でやっているのか。

A 1, 2年担任が生活科を受け持ち、3年担任は総合や別な教科というようにしている。また、町内の同学年児童が集まる「めざみ学習」を全学年で行っている。

#### (3) 学校運営協議会員の方から

- ・ 学校ボランティアとして、子ども見守り隊6名、放課後子ども教室4名、家庭科ボランティア2名、出て下さっている。田んぼでは農地水の方、里芋植えで畑の先生、しめ縄では松原地区の方4名。ありがたい。
- ・ 安全協会で朝見回りをしている。上代、松原は7時ごろ出発している。毅然とした登校をしている。自分の会社の朝礼が終わる頃子ども達が集社前を通過する。挨拶はとてもいい。下校の時間はばらばらだが、きちんとしている。
- ・ 高規格道路で東山の交通量はかなり減った。まもなく乗り上げ工事が始まるとまた変わるかもしれない。
- ・ 松原は1年生が2人。最初は1年生に合わせて歩いているので遅れていたようだが高学年がカバーして歩いていたようだ。最近はいい。前は2班に分かれていたが今は一緒に歩いているようだ。下校時間はばらばらだが、車が来れば避けている。挨拶は必ずしている。
- ・ 心配なのは工事車両トラック。小白川に行く量がすごい。飛び出ししないか、気を付けるよう声がけしている。
- ・ 登校は通学班だからいいが、下校は上学年・下学年等でばらばら。人数も少ない。地域の方の見守りはありがたい。
- ・ 単子子供会は工夫していきたい。放課後の過ごし方、親御さんのいない家に集まっていることはないか、心配。これは親の問題でもあるが。
- ・ 地域の祭りなどに参加してほしい。

- ・ 登下校、あいさつ、いい。帰りは下校時刻が違うので事故が心配。家庭での見守りは心配なことも。小白川のトラックについては役場の方で運搬車両の登下校時の調整などしてもらえないか。
- ・ 公民館では、子どもが減っているので全体の活動にしようと思っていたところだが、集落単位の活動も残したいものだ。
- ・ できない地区は大旦。小中学生がいるのは1家庭だけ。
- ・ 東山は、花植えは地区の人でしている。やははえろは育成会にお任せだったが一緒に地区もしてもらいたい。
- ・ 大旦の1家庭はやははえろをしたことがなかったそうだ。中洞に誘った。中洞は古紙回収をしていない。東山に入れてもらいたい。
- ・ 松原は古紙回収していない。やははえろは設立委員会でもらってそこに地区や子どもも参加。育成会に参加してもらおうことにしている。温泉祭りの踊りとか。
- ・ 松原は花植えをずっとやってきたがハナミズキが枯れたので花植えはやめた。大変だという話もありやめた。ハナミズキは県の管理下なので連絡して伐採した。松原地区は育成会が抜けると親も出なくなるので、なくなったら困る。秋のそば打ちは育成会と生産者。育成会に手伝ってもらってやっているという感じ。
- ・ 人がいないから、工夫してやっていくしかない。
- ・ 公民館でもいろいろある。町を通すと助成金がでるが取り組みが難しい地区もある。
- ・ 地区単位で特色あるものを行っているところもある。
- ・ 義務教育学校になった時の活動の在り方、継続的に話して行ってほしい。

#### (4) その他

##### ① 「いいでの森学園」に残したい活動について

- ・ 通学の仕方などはどうなっていくのか。こうなるということ、学校からもっと発信してほしい。紹介する場面がほしい。学校便りは、よく見ている。
- ・ みどりの少年団はどうなるのか？ぜひ継続してほしい。以前、源流の森で椅子を作った。巣箱を作ったりもした。
- ・ 全国植樹祭で前財産区委員長さんが表彰された時、自分も一緒に行った。できれば残してほしい。大人数で活動するには狭いというのならもっと広げてほしい。
- ・ 地元の活動は残したい。地域を愛する活動は残してほしい。
- ・ 新たな学校として、特色のある教育を残したい。大きな行政区となると子どもとの関わりが薄くなってしまう。いい仕組みを作ってほしい。
- ・ 飯豊町は散居集落。東部地区公民館で「いいでみどり塾」を開いた。そのパンフレットがある。屋敷林にはたくさんの動植物が住んでいる。頂点は飯豊山である。いいでの森学園とせっかくつけたのだ。仙台の杜の都も伊達政宗の時代に遡れば屋敷の半分は実のなる木で森だった。近代になって杜にした。ここは上杉藩が植栽工業を考えてきた。自然と触れ合える体験のできるものは地域と関わりながら残していけるとよい。巣箱を作るのなどはいい。バーチャルだけでいくと本物を知らなくなる。
- ・ 1年に一度だが学校林活動をしている。新しい学校では何年生かの活動に残すことができればよいと思っている。それを残すには管理面で課題があるが。他に残す候補は「水芭蕉オープニングセレモニー」への参加。田んぼの活動も残したい。本校校区内の田んぼに限定するわけではないが。

##### ② 閉校記念式典について（資料あり）

- ・ <町教委より> 本来ならば年度末、卒業式の後が良いとは思いますが忙しいことが予想される。そこで秋の実施を考えた。添川小は令和7年11月8日（土）。町長は5校全ての式に出席する。式の中で「校旗の返納」を予定しているが、実際には校旗を年度末まで学校に置く。

- ・ <学校より> 11月8日は、午前中に「めざみの里音楽祭」が開催される予定日。午後式典にすれば、休日の登校日を増やさずにすむため希望日とした。記念事業をするかどうかは各校に任せられている。1学期末から2学期はじめにかけて、記念事業の第1回実行委員会を開くようにしたい。150周年記念事業実行委員会と同じ役職の方に委員をお願いしたいと思っている。
  - 学校の提案について出席者から了承をいただいた。
- ③ 「いでの森学園」での学校運営協議会の形態について
- ・ <町教委より> 学校で一つの協議会とする。学舎ごとにはおかない。ただし、学舎ごとに地域の声を反映できるメンバーを選ぶ。開催場所は学舎をローテーションする。一つの場所で話し合いを行い、学舎毎で話し合うなど考えていきたい。
- ④ 次回について
- ・ 子ども達の見守り活動の充実についてどうしていったらいいか、話していただきたい。地区ごと顔見知りになっていないと、ということもある。安協の活動と別なものにならないように、持続可能な見守りであってほしい。校区が広がると遊びに行く範囲も広がる。